

翌朝、祖母は和子姉さんをバスの停留所まで送るようについた。わたしが和子姉さんを恩慕していることを知っての、祖母の心遣いであった。和子姉さんは「耕大ちゃん、別離と書いてわかれと読むとは知ってる」とと

くへ去ってしまふのだろうか。わたしの友人が大学の夏休み

に故郷へ帰った。「ぐらいいした」と友人はいった。「ぐらい」は

がっかりの意味も含む松浦地方の言葉である。擬音語といえる。憧れの人がマタニティドレス

た。「学校の先生は好かん」ともいった。白状したのも同じである。わたしは同級生を慰めながら、なんだか嬉しかった。「お

憧れの人は遠くへ

で繁華街を歩いていたそうである。東京の下宿で、友人は泣きながら「妊娠しるとなれば、家

で繁華街を歩いていたそうである。東京の下宿で、友人は泣きながら「妊娠しるとなれば、家

た。「学校の先生は好かん」ともいった。白状したのも同じである。わたしは同級生を慰めながら、なんだか嬉しかった。「お

た。「学校の先生は好かん」ともいった。白状したのも同じである。わたしは同級生を慰めながら、なんだか嬉しかった。「お



おかへ・こうだい 1979年に「肥前松浦兄妹心中」で岸田戯曲賞を、89年に「一曲也子」で紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。日本劇作家協会元理事。松浦市で毎年、子供たちにミュージカルを指導している。川崎市在住。70歳。

(松浦市出身)